



全従業員に対して定期的にPCR検査を実施すること！ 現金扱いは手袋着用で行うこと！ コロナウイルス感染症に関して申し入れる

新幹線パッセンジャーズサービス（JRCP）の社員（東海道新幹線の車内販売員）、新幹線メンテナンス東海（SMT）の新幹線車内清掃整備員がコロナウイルスに感染したのに続き、新幹線運転士が感染していることが明らかになりました。

感染の収束がおぼつかない中、また感染経路が判らない感染者も一定数ある中で、昨年同様あるいはそれより多い本数の列車を走らせるのであれば、従業員の不安を少しでも解消するよう対策を実施するべきです。

JR東海労はあらためて、全社的な新型コロナウイルス感染予防対策の実施と安心して働ける労働環境整備（申第8号）、社員が感染した場合の勤務認証や賃金保証などの解明（申第9号）を求めて団体交渉を申し入れました。

申第8号の内容（要旨）

- ◆ JR東海および関係会社の全従業員に対し、定期的なPCR検査を実施すること。
- ◆ 従業員に対し検温を行い37.5度以上の場合あるいは体調不良を訴えた場合は直ちに医療機関を受診させること。
- ◆ 現金を扱うときは手袋を着用すること。現金授受はトレイを介して行うこと。
- ◆ 昨年より多い列車本数を運行するとしているが、それに対応する従業員の健康対策を明らかにすること。
- ◆ 現場管理者に対し不謹慎な発言をしないよう指導すること。